

勇ましい奥日野源流太鼓の演奏



給水所では選手とスタッフのふれあいも

家族の応援にラストスパート



家族や仲間で気軽に参加、ファンランクラス

# 第33回 中国山地日野 鶏の池マラソン大会 7月25日 (日)



健脚自慢が10キロコースに挑む。



1 番に帰ってくるぞ、と勢い良く飛び出していく選手たち



選手宣誓。暑さに負けず頑張ります。



猛暑の中、走り切った選手たち

# 300人が湖畔を駆け抜ける 全国各地からマラソン愛好家が鵜の池に集まる

7月25日、第33回中国山地野鵜の池マラソン大会（同実行委員会主催）が、鵜の池湖畔で開かれました。

大会には県内をはじめ、東は大阪府から、西は山口県など全国各地から約300人の選手が参加しました。

選手は、湖畔を1周する2.3キロや湖畔と広域農道を走る5キロ、5キロを2周する10キロの3コースを年齢などで18クラスに分かれてスタート。当日は真夏の厳しい暑さの中、健脚自慢が自然溢

れるコースを走り抜きました。

また、会場では地域住民が恒例のみそ汁サービスやかき氷、アユの塩焼きなどのバザーをして、選手とふれあい、にぎやかな大会となりました。

▼町内入賞者（第3位まで掲載、敬略称）【Bクラス】第1位Ⅱ生塩実優、第3位Ⅱ西村香歩、【Fクラス】第1位Ⅱ生塩駿也【Iクラス】第2位Ⅱ竹永明文



バザーは選手の憩いの場